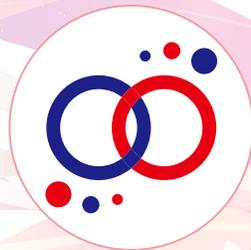


倉敷医療生活協同組合  
**コープリハビリテーション病院**  
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
 TEL 086-444-3212  
 老人保健施設 **老健あかね**  
 TEL 086-446-6541



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## 意思決定支援のマニュアル化

### 脳卒中連携を考える会

1月31日開催の脳卒中連携を考える会に参加しました。倉敷記念病院 田中師長から、「新病院における回復期リハビリ病棟の役割」求められる多職種連携」では、病院全体をスライドで紹介され、病棟の機能やこれからの取り組みについてのお話がありました。同じ回復期リハビリ病棟を担当するMSWとして、

共感する点が多くあり参考になりました。続いて、大阪の森之宮病院診療部副部長医療ソーシャルワーカー藤井由記代さんが、「脳卒中患者に対する意思決定支援マニュアルのご紹介」のテーマで講演されました。そこでは、ふたつのことを学びました。

まず、「意思決定支援の基本をマニュアル化し土台を形成すること」です。患者様は障害を抱えながら退院後の生活を「自己決定」していく必要に迫られます。その内容は生活の場や暮らしだけでなく、就労先や新たな生きがいを見出すことなど多岐に渡ります。専門職は、患者様に応じた千差万別の「自己決定」を支援する技術を学習や経験も通しながらスキルアップすることが求められます。また、リハビリテーションの進み具合等回復の状

況を鑑みながら多職種と方向性を合わせて関わっていく大切さも強調されていました。もう一つは、退院後も継続した支援が求められるということとです。具体的な例として、病院内に「脳卒中サロン」を設け、患者様が病院を訪れることで人との関わる機会ができること、相談ができる場があると安心などの紹介がありました。

入院から退院までの支援、退院後の生活が継続できる取り組みにMSWの役割を実感できた研修でした。(コープリハビリテーション病院 医療福祉相談・連携室 小林美澄利)

入院から退院までの支援、退院後の生活が継続できる取り組みにMSWの役割を実感できた研修でした。(コープリハビリテーション病院 医療福祉相談・連携室 小林美澄利)

## 将来への展望

### 母国ベトナムに介護技術を伝えたい



老健あかね介護福祉士のチャン・ティ・ホン・ガムさん

ことができず褥瘡ができ、後悔しました。日本で介護技術を勉強し、いずれ、ベトナムに帰った時に、両親を介護してあげたいし、介護施設ができていけば、リーダーとして技術を広めたい。そんな志をもち来日しました。

老健あかねで働くなかでびっくりしたことがありました。「大変な人がリハビリして自宅に帰れるようになるのを見て、どんなケアプランを立てたら、そうなるのか、すごいなと思った」と言います。ただ、漫然とプランを立案するのではなく、利用者様が「やる気が出る具体的なプラン」を提案し実践することが大切だと思いました。その方にあった個別のプランを立てるために、日本語をもっと勉強し語彙を増やさないといけないと考えています。自宅で時間があれば日本語講座を視聴して勉強中です。

また、緊急時に機敏に動く介護リーダーの姿を見て「カッコいい、あんなふうになりたい」と目標ができました。将来、ベトナムで両親の介護をしている自らを思い描きながら、「今は日本で長く働きたい」と強い決意を聞くことができました。(老健あかね 事務次長 田辺紀子)

## 厚生労働大臣表彰を受けました



内科的な病気です。病気の性格から入院期間やクスリの量そして就労支援まで幅広く意見を求められます。これを30年も続けているので厚生労働省も評価してくれました。

私は倉敷市の嘱託医として水島保健福祉センターに月1回出務しています。仕事は生活保護法による医療扶助が適正かどうかの審査です。

でも一番の名誉は倉敷医療生活協同組合の一員として地元に貢献していることです。(コープリハビリテーション病院 管理者 鍛本真一郎)

私がリハビリと精神科なので対象は脳神経系や心療

# 平和ゼミ ケアの視点から見た戦争と平和 沖縄フィールドワーク

平和ゼミでは憲法の重要性や日本の戦争の歴史、ケアの視点から見た戦争の仕組み等、戦争と平和をテーマに学びを深めています。

そして1月17日、19日は沖縄フィールドワークへ行き、現状や沖縄戦の実態を体感してきました。

普天間基地等の米軍基地、辺野古へ足を運び、沖縄の日常には今もなお戦争の色が残っていることを再認識しました。まずは日本の現状の背景にあるものを冷静に把握することが戦争に向かわせない第一歩になると感じました。

地上戦の渦中にいた人々の命が脅かされる恐怖、その環

境にいるなかで人に対して残酷にならざるを得ない感覚は、現代を生きる私達は戦争を経験していないため完全に理解することはできません。

ただ、歴史を知り何かを感じ取ろうとする試みを絶やしてはいけないと思います。戦争は個や尊厳を消すことで行われる、「ケア」とは対極側にあるものです。

利用者の目線に立ち想像力を働かせて関わっていく、日頃から触れている「ケアの価値」を再確認する機会となりました。

(コープリハビリテーション病院 医療福祉相談・連携室 医療ソーシャルワーカー 西岡美紀)



「県民が戦火で追いやられた」糸数アブチラガマ

# 中学生の職場体験

## 初めて入るナースステーション

倉敷西中学校、福田南中学校、福田中学校の2年生の方々が、それぞれ3日間職場体験のため来られました。

看護師だけでなく様々な職種の人が連携をとって仕事をしていること、病棟ごとの役割や病院と老健の違いなどを知ってもらいました。その後実際に病棟での仕事を見学したり、車椅子体験や血圧測

定、包帯法などを実施しました。

みなさんなかなか病院の中に入る経験はなく、はじめはとても緊張していましたが、少しずつ慣れ真剣に取り組まれました。疾患を抱えている患者さんがどのように入院生活を送っているか、看護師がどのように対応しているかを



筆者(中央)と職場体験参加の中学生

さんとコミュニケーションを取ってみたい体験になった、将来看護師を目指したいという声を聞くことができました。

また後日届いたお手紙では患者さんへの配慮、ひとりひとりに合わせて工夫する細やかさに感動したなどの言葉も頂きました。今回の体験が将来医療従事者を目指すきっかけになってくれると大変うれしく思

います。  
(コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 茅尾見穂)

# 新入職員紹介



老健あかね 看護師 鈴木多美恵

## 診療表

コープリハビリテーション病院  
外来受付時間 8:30 ~ 12:00  
[086-444-3212]

老健あかね  
[086-446-6541]

	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アッ 教室	訪問リ ハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00 ~ 12:30	14:30 ~ 15:00	午後	9:00 ~ 16:50	9:30 ~ 11:00		9:00 ~ 16:00
月	3/3-17/3/4/28 中角 (整形外科)			○		○	○
火	渡辺	○ (予約制)	滝本 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○	○
金	香口			○		○	○
土					○		○

## 医療福祉相談・連携室

相談 受付時間	平日	9:00~12:00	13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00	
	日・祝日	休み	



〇お問い合わせ先  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212(代表)  
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30  
土曜日 9:00 ~ 12:00  
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。